CONTENTS


はじめに …… 002

本書の使い方とサンプル画像について …… 010


## ▷▷▷ CHAPTER 0

### 効率化のために知っておきたい iPad便利技


01 ワークスペースの概要　Illustrator 編 …… 014

Photoshop 編 …… 018

02 合わせて使いたい便利ショートカット …… 020

03 iPad の基本の連携について …… 028


### IPAD USER INTERVIEW


01 画家／田中ラオウ …… 054

02 デザイナー／五藤 晴菜 …… 080

03 マンガ家／白浜 鴎 …… 156

04 編集者・ライター／浅井 貴仁 …… 186


## ▷▷▷ CHAPTER 1

### 今すぐ役立つ Illustrator iPad版の効率化テク


01 レイヤーを操って色塗りする …… 036

02 パスを操作する …… 038

03 ブラシを調整してイラストを描く …… 040

04 テキストを自在に入力する …… 042

05 左右対称のイラストを描く …… 044

06 図形で写真を切り抜く …… 046

07 シェイプで思いのままに操る …… 048

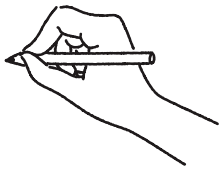
08 グラデーションを作成する …… 050

09 アートボードを変更する …… 052

## CHAPTER 2

# 今すぐ役立つ Photoshop iPad版の効率化テク


01 レイヤーを分けてイラストを描く …… 060
02 選択範囲を読み込む …… 062
03 画像サイズを変更する …… 064
04 写真を明るく鮮やかに …… 066
05 描画モードで写真を加工する …… 068
06 不要な部分を消す …… 070
07 レイヤーを合成する …… 072
08 写真を切り抜く …… 074
09 筆圧を調整してブラシで描く …… 076
10 オリジナルブラシで描く …… 078



## CHAPTER 3

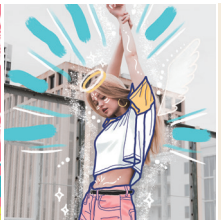
# デザイン制作の時短に役立つ 神アプリとの連携


01 リアル絵画の加工も不要　ブラシ１本で表現が広がる …… 086
02 SNS 画像の制作もわずか５秒　好みのレタッチに自動変換 … 090
03 お絵描き感覚でなぞるだけ　写真の一部の色を変える …… 094
04 高度なレタッチ技術不要　消したい物を一瞬で消すテク …… 098
05 瞬時にインスピレーション　悩まない配色パレット …… 100
06 気になるフォントが知りたい　イメージから検索 …… 104
07 SNSに直接投稿も可能　レイアウトを自動作成 …… 106
08 一瞬でできる　写真切り抜きコラージュ …… 110

## ▷▷▷ CHAPTER 4

# 作業の手間が省けるデザインテクニック集


01 絵心が無くてもそれっぽく描ける描画テクニック　その① …… 116
02 絵心が無くてもそれっぽく描ける描画テクニック　その② …… 120
03 イラストのクオリティを上げるニュアンスブラシテクニック …… 124
04 既存のフォントで水彩アートテクニック …… 128
05 センスが際立つ線画イラストをおしゃれに仕上げるテクニック… 130
06 カラーモードを変えて印象的に仕上げるテクニック …… 132
07 SNS 映え！ 着せ替え風のイラストを描くテクニック …… 134
08 一瞬で 一眼カメラ風に仕上げるテクニック …… 136
09 オリジナルパターンをたった 3 分でつくるテクニック …… 138
10 手間なベジェ曲線の制作を 1/2 カットするテクニック …… 140
11 iPad で感覚的にロゴがつくれるラク技テクニック …… 142
12 レイアウトの制作時間を 1/2 カットするテクニック…… 146
13 速ワザ! 映える写真デザインに仕上げるテクニック …… 148
14 シンメトリービジュアルが簡単に描けるテクニック …… 150
15 内蔵カメラで撮影してベクターイラストを作成するテクニック … 152



## ▷▷▷ CHAPTER 5

# 生産性の最大化をはかる クリエイティブワーク


01 倍速で終わる PDF の赤字入れ作業 …… 162
02 コピー & ペーストで企画書の作成時間カット …… 166
03 「ファイル」アプリでクラウドのデータもらくらく管理 …… 168
04 AirDrop でデータを PC へ高速送信 …… 172
05 疲れてきたら音声入力で生産性 UP …… 174
06 定期的な作業はショートカットで生産性 UP …… 176
07 Split View と Slide Over で 2 画面作業がスムーズに … 178
08 Googleカレンダーでいつでもどこでも管理 …… 182
09 たった30秒でつくれるポートフォリオ …… 184

おわりに …… 190

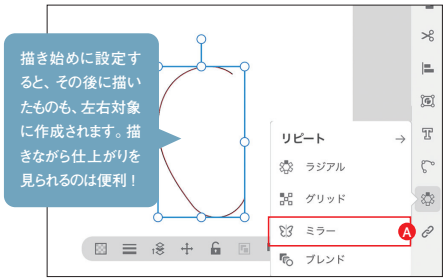
Section 05

# 何度も描き直す手間が省ける 左右対称のイラストを描く

左右対称のイラストを、仕上がりを見ながら描けるので
何度も描き直す手間が省けます。

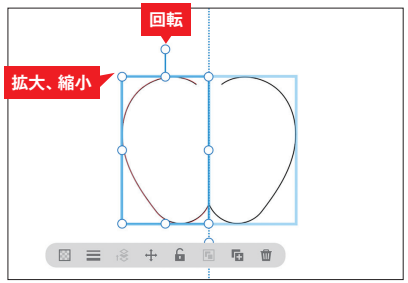
## リピート機能で左右対称のイラストを描く

### 1 左右対称のイラストを作成する



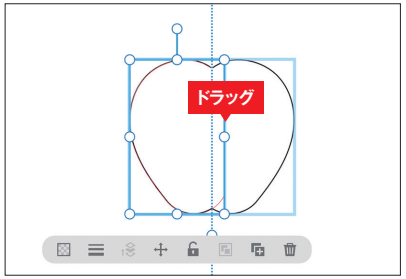

[選択ツール]でアートワークの最初の半分を選択し、タスクバーの[リピート]→[ミラー]Aをタップするだけで、対称形の残りの半分が作成されます。

### 2 ハンドルをドラッグして回転・変形する



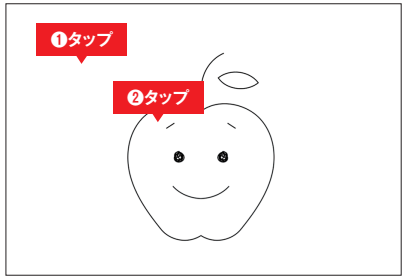

ハンドルをドラッグすると、対称の片方だけでなくミラーリングされた部分も同時に回転・変形できます。

### 3 2つのアートワーク間の角度と間隔を調整する




2つのシェイプ間の**対称軸**をドラッグして、2つのアートワーク間の**角度と間隔**を調整します。

### 4 対称形に適用しない部分のイラストを描く

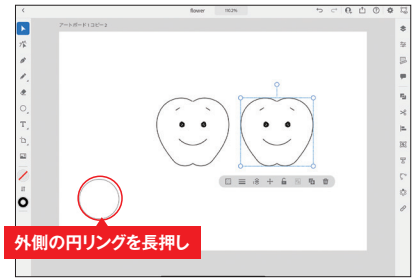



操作が終了したら、他の場所をタップしてリピート機能を解除します。もう一度画像をタップしても、コントロールハンドルは表示されなくなります。



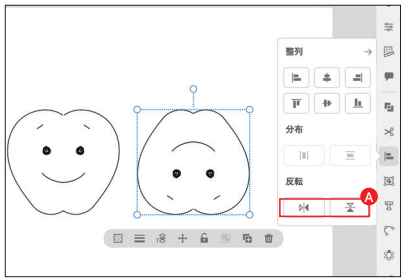
## オブジェクトを複製して反転する

### 1 オブジェクトを複製する




[選択ツール]でオブジェクトを選択し[セカンダリタッチショートカット]を長押ししながら移動させると、複製ができます。

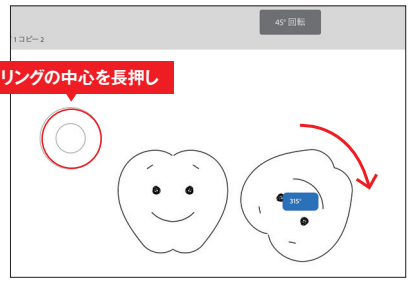
### 2 オブジェクトを反転する




タスクバーの[整列と分布と反転]→[反転]Aをタップするだけで、左右や上下に反転させることができます。

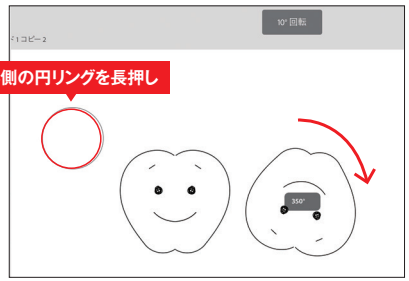
## タッチショートカットで回転する

### 1 45°ごとに回転




[プライマリタッチショートカット]を長押ししながら回転すると、45度にスナップできます。

### 2 10°ごとに回転




[セカンダリタッチショートカット]を長押ししながら回転すると、10度にスナップできます。

**MEMO**

### スムーズな描画のための設定

画面右上の[アプリケーション設定]Aを開きます。[入力]のタブから[Apple Pencil]→[パームリジェクション]Bのトグルをオンにします。Apple Pencilの使用中に、カンバスに指が触れて意図しない線が描画されるのを防止します。

Section 05

タップするだけで雰囲気が変わる

# 描画モードで写真を加工する

［描画モード］を変えるだけで、フィルターがかけられたような印象的な写真に魅せることが、すぐにできます。

## カラー画像を白黒に変換する

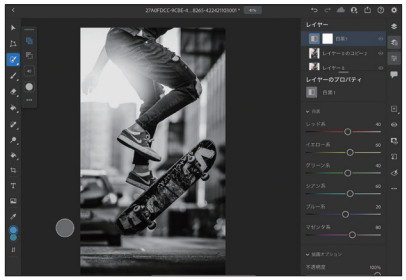
### 1 レイヤーを複製する

レイヤーを選択した状態で、**［レイヤーアクション］**Aから**［レイヤーを複製］**Bをタップします。

### 2 調整レイヤーを作成する

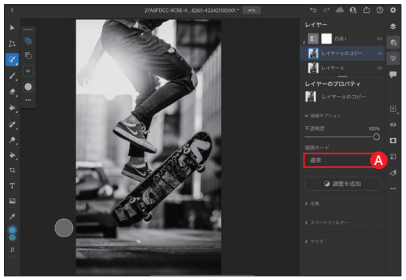
**［レイヤーのプロパティ］**Aから**［調整を追加］**Bをタップします。**［白黒］**Cを選択します。

### 3 写真を白黒にする



自動でカラーが白黒に調整して変更されます。

### 4 描画モードを変更する




複製したレイヤーを選択し、**［描画モード］**Aをタップします。



## 描画モードで写真を加工する

### 1 描画モードを変更する

左ページの手順4から任意の**［描画モード］**Aを変更します。重なる画像によりモードの見え方が変化します。

### 2 レイヤーの不透明度を調整する

**［不透明度］**Aのスライダーを左右にドラッグして、描画モードのレイヤーの不透明度を調整します。

## 被写体のマスクを作成する

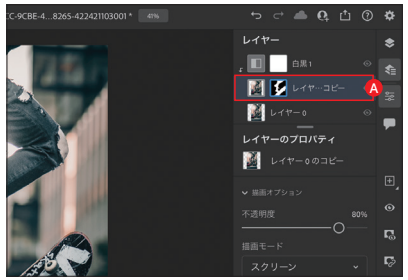
### 1 被写体の選択範囲を読み込む

**［選択］**ツールをタップし、**［被写体を選択］**Aをタップすると、人物が選択されます。

### 2 レイヤーマスクを作成する

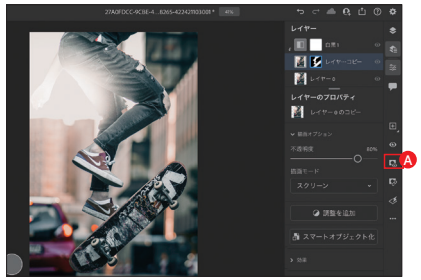
画面下部にプロパティバーが表示されるので、**［マスク］**Aをタップします。

### 3 マスクが適用される




マスクが適用されA、**［描画モード］**は被写体のみにかかるようになります。

### 4 マスクの表示/非表示を切り替える




タスクバーの**［レイヤーマスク］**Aをタップすると、マスクの表示/非表示を切り替えられます。

Section 08

# 一瞬でできる 写真切り抜きコラージュ

ワンタップで切り抜きや写真のフィルター加工が
驚く速さでできるアプリを紹介します。
補正によるレイヤー数の増加もないので使いやすい!

APPLICATION
Adobe Photoshop Express
無料
APP内課金あり

## 写真を読み込む

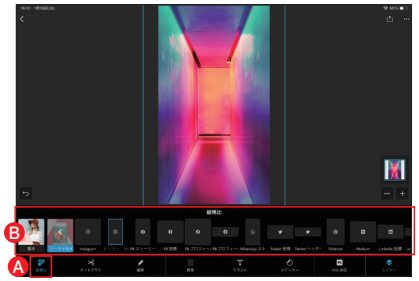
### 1 [Mix]機能を起動する

Photoshop Expressのホーム画面を開いたら、[Mix]Aをタップします。

### 2 写真を選択する

使用したい写真を選択します。

### 3 キャンバスを選択する




写真が開かれたら、[縦横比]Aからキャンバスを選択します。

**MEMO**

**キャンバスの種類について**

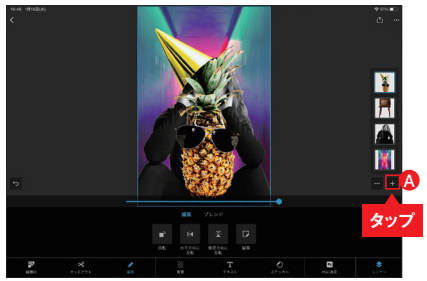
キャンバスサイズは、デバイスサイズだけでなく、Instagram、Twitterなどのソーシャルメディア、ポストカードなどの印刷物、Facebookデジタル広告などにも対応しています。目的に合わせたキャンバスを選べるので便利です。

## 写真を切り抜く

### 1 写真を切り抜く

[カットアウト]Aをタップし、[被写体]Bを選択して写真を切り抜きます。

### 2 合成したい写真を追加する



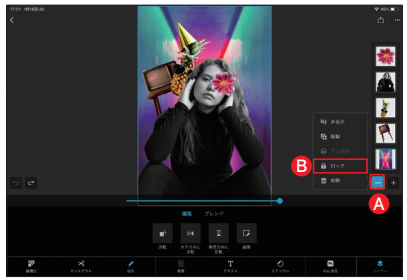

レイヤー下の[+]アイコンAをタップし、合成したい写真を追加します。

## レイヤーを操作する

### 1 レイヤーの順序を入れ替える

レイヤーを選択し、長押ししてからドラッグ&ドロップしてレイヤーの順序を入れ替えます。

### 2 レイヤーをロックする




触れたくないレイヤーは、レイヤー下の[…]Aをタップし、[ロック]Bを選択します。

次のページへ続く

Section 02

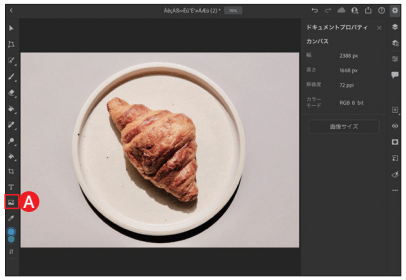
# 絵心が無くてもそれっぽく描ける描画テクニック　その②

撮影した写真を使って、写真を加工し
アナログイラスト風に演出します。コツを掴めれば
本格的＆立体的なイラストを描くことができます。

APPLICATION
Adobe Photoshop
Adobe Fresco

## ベースを描く

### 1 Photoshopで下絵にしたい写真を読み込む




Photoshopで任意のサイズのドキュメントサイズを新規作成し、**[写真の配置]** Ⓐから使用したい写真を配置します。

### 2 [選択ツール]で選択範囲を読み込む

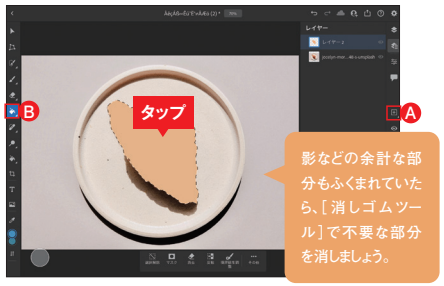
**[選択]** ツール→**[クイック選択]** Ⓐを選択し、クロワッサン全体をなぞって選択します。**[スポイト]** ツールⒷで写真からベースの色を抽出しておきます。





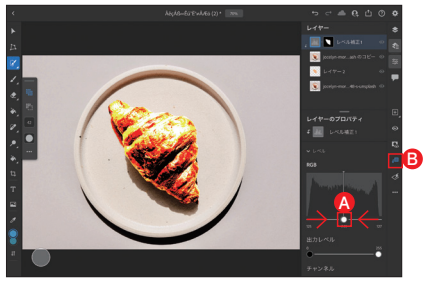
## ローライトを加え立体感を出す

### 3 選択範囲を塗りつぶす




**[新規追加]**→**[新規レイヤー]** Ⓐを選択します。**[塗りつぶしツール]** Ⓑでタップして塗りつぶし、パンのベースを作成します。

### 2 [レベル補正]でシャドウを強調する

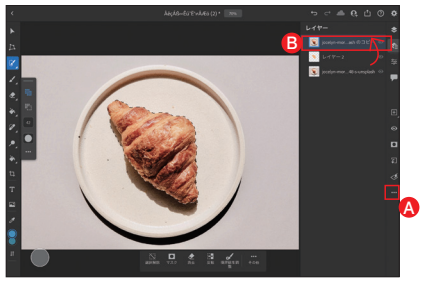



**[新規追加]**→**[調整レイヤー]**→**[レベル補正]**を選択します。画面を見ながら、**レベル補正のシャドウ、ハイライトのスライダーをすべて中心に寄せます** Ⓐ。**[クリッピングマスクを追加]** アイコンⒷをタップしてマスクを作成します。

### 3 写真をモノトーンに変更する

**[新規追加]**→**[調整レイヤー]**→**[白黒]**を作成します。同様に**[クリッピングマスクを追加]** アイコンⒶをタップしてマスクを作成します。

### 1 写真レイヤーを複製する



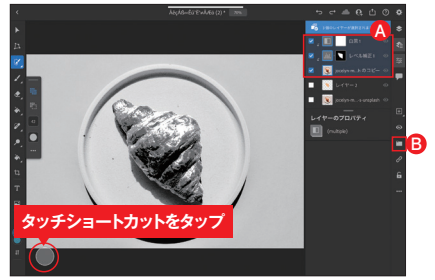

写真のレイヤーを**[レイヤーアクション]** Ⓐ→**[レイヤーを複製]** を選択し、レイヤーの位置をドラッグ&ドロップして最上位に入れ替えますⒷ。

**MEMO**

**[クリッピングマスク]が表示されない?**

[調整レイヤー]を作成した際、レイヤーのプロパティがアクティブになっている状態なので、[クリッピングマスク]アイコンが表示されません。その場合は、一旦他のレイヤーを選択し、再び[レベル補正]のレイヤーを選択すると表示されます。

### 4 レイヤーをグループ化する




タッチショートカットを押しながら、手順1〜3で作成したレイヤーをすべて選択しますⒶ。**[新規グループ]** アイコンⒷをタップしてグループを作成します。

次のページへ続く

Section 01

# 倍速で終わる PDFの赤字入れ作業

プリント、スキャンすべて不要、外出先でスキマ時間にさくっと赤字を入れて、ささっとメール送信！
今までの作業が劇的に短縮できること間違いなし！

APPLICATION
GoodNotes 5
価格：¥980

## ペンで赤字を記入する

### 1 PDFを読み込んで編集する

［GoodNotes 5］を開き、**［書類］**タブから**［＋］**ボタンをタップして、赤字を入れたい書類を開きます。右上にある**［編集ツール］**Ⓐを選択します。

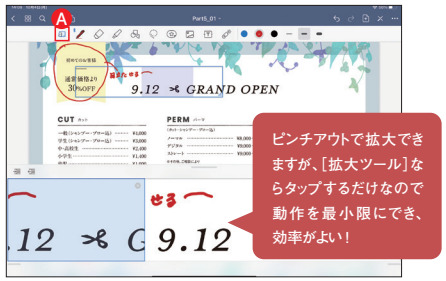
### 2 ［ペンツール］を設定する

**［ペンツール］**Ⓐをダブルタップするとペンの種類が変更できます。

### 3 使いやすくカスタマイズする

Ⓐではペンの太さと色を3つずつ登録できるので、よく使う色を設定しておきます。

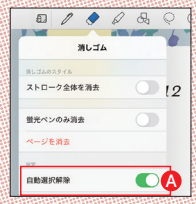
### 4 拡大して赤字を記入する




修正箇所を書き込みます。細かくて書きにくい場合は、**［拡大ツール］**Ⓐで拡大します。

**MEMO**

#### ［自動選択解除］で直前に使っていたツールに切り替える




［消しゴムツール］を長押しし、**［自動選択解除］**Ⓐを有効にすると、消しゴムを使用後、ペンを画面から離すと自動で、直前に使っていたツールに切り替えてくれます。

**MEMO**

#### iPad+Apple Pencilで生産性アップ

クライアントから送られてきた色校正を印刷→出力紙に赤字入れ→赤字入れ書類をスキャン→メールで返信。赤字入れを間違えたら、修正テープで書き換え…。今まではいくつも工程があって、かなり時間と手間がかかっていましたが、iPad+Apple Pencilを使えば、作業時間を大幅に短縮できます。そして外出先でも気軽に作業できて、さらにペーパーレス化でエコにも◎

## 追加や差し替えの写真を配置する

### 1 写真を選ぶ

**［写真ツール］**Ⓐをタップします。最近iPadの「写真」アプリに保存した画像がⒷに表示されます。配置したい写真のサムネイルをノート上にドラッグ&ドロップするだけで貼り付けることができます。

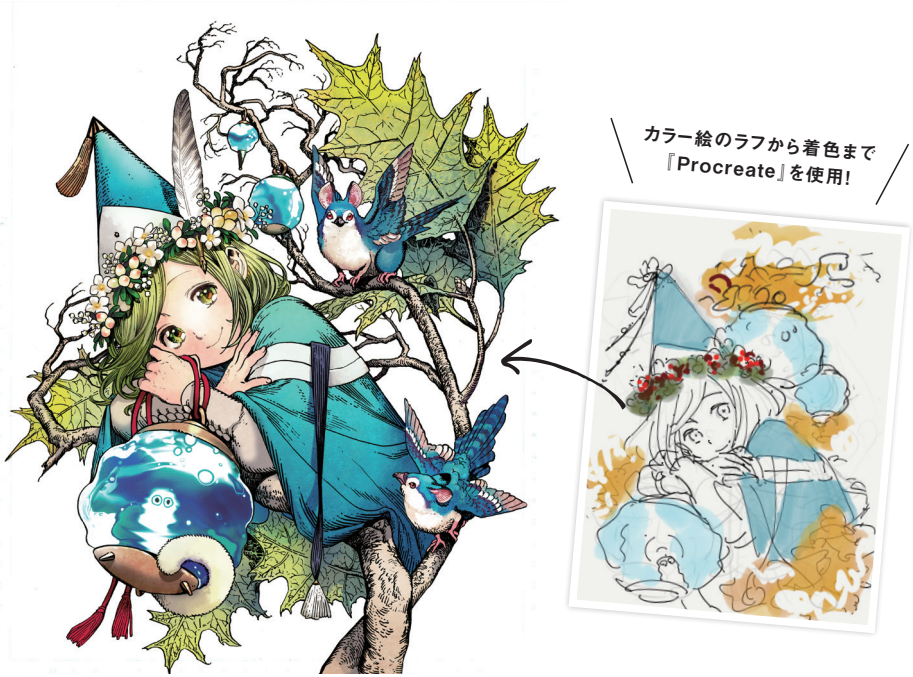
### 2 他のアプリから写真を選ぶ

**［写真ツール］**Ⓐをダブルタップすると、写真選択のメニューが表示されます。「ファイル」など他のアプリから読み込みたい場合は、メニュー下部の**［次から挿入］**Ⓑをタップし、配置したい写真を選択します。

次のページへ続く

IPAD USER INTERVIEW 03

# 物語のプロット作りやスケッチに どこでも使えるiPadが活躍



カラー絵のラフから着色まで『Procreate』を使用!

KAMOME SHIRAHAMA

## 白浜 鴎

マンガ家

*PROFILE*

ビームコミックス『エニデヴィ』で2013年マンガ家デビュー。フリーのイラストレーターとしても挿画などを手がけ、2015年マーベルコミックスでマンガバリアントカバーを担当。以降、DCコミックスでもカバーアートを担当し、国内外で活動の幅を広げている。2016年から講談社モーニング・ツーで『とんがり帽子のアトリエ』を連載中。

## 『CLIP STUDIO PAINT』と『Procreate』を使用

**—— 2013年にマンガ家デビューして以来、高い画力と、工夫されたコマ割りなどでSNSでも話題の白浜さんですが、どのようにマンガを描いているのか、制作過程を教えてください。まずネーム(ラフな下書き)を描いて、それからペン入れをするのが一般的だと思いますが、どのような流れになりますか?**

私の場合はネームの前に、メモ帳にプロット(ストーリーの構想)を細かく書き出す作業をするのですが、その際にiPadを使います。メモ帳はApple純正の『メモ』アプリです。iPadは持ち運びできるので、気分を変えて庭とかリビングとか、あとはベッドルームに持っていって考えたりします。

プロットは、お芝居の台本みたいにセリフと、そのときの状況の説明を文章で書いて、1話ごとにまとめています。物語全体の大きな流れや、キャラクターや世界観とか、設定も頭の中に全部入っているのですが、その回の分だけを一話ずつ書き出しています。

『Adobe Sketch』で描いた動物のスケッチ。

**—— ネームからは手描きで描かれるのですか?**

はい。原稿の近くにiPadを置いて、打ち込んであるプロットを見ながら描きます。作業中にプロットを直すこともあるので、印刷せずに画面のままで見ています。漢字などもその場ですぐ調べられるので便利です。手元で資料が見たいときとか、取材時にiPadで撮影してきた写真を見たりとか、インターネットで検索したりもします。本当に大したことのない使い方しかしていませんが(笑)。PCは作画の作業机と少し離れたところにあるので、完全にPC代わりですね。ちなみにPCはカラー作業とか、あとは仕上げのトーン貼りのときなどに使います。

ペン入れもそのまま紙ですが、着彩はPCで液晶タブレットを使います。でも、出先で描かなきゃいけないときは、iPadを使って色を塗っています。

**—— その後はもう原稿としては完成になりますか?**

そうですね。スキャンして取り込んで、『CLIP STUDIO PAINT』でトーンを貼って、その後にアシスタントさんに作業をしてもらいます。ほぼほぼ完成しているような状態でPCに取り込むので、本当にトーンを上から貼るだけですが。

### iPad Q&A

**iPad使用歴は?**

初代iPadは持っていましたが、仕事用に使いはじめたのは2018年ごろから。当時、海外の旅行先で仕事がしたくて買ったのがきっかけです。原稿をスキャンして取り込んでおいて、それで『Procreate』で色を塗って、旅行先から送ったりしていました。締め切りがあったので、飛行機に乗る前日に買いに行って、朝までセットアップしてそのまま飛び出した思い出があります。

**現在使用のiPadは?**

iPad Pro 第一世代　10.5インチ

**—— アプリは何を使用していますか?**

『Adobe Sketch』(現在は提供終了)がスケッチ用で、『CLIP STUDIO PAINT』はマンガ用です。『Procreate』はカラーイラストで使用します。他に『Realistic Paint Studio』という油絵っぽい絵が描けるアプリもあるんですけど、それは完全に遊びで使っています。『CLIP STUDIO PAINT』と『Procreate』はiPad版を使っています。

**—— 『Apple Pencil』で描くときは、タッチに特に違和感はないですか?**

結構自由に描けるなという印象です。生っぽい、鉛筆っぽい、アナログっぽい雰囲気のスケッチができるなと思うことはよくあります。もともと液晶タブレットを使うので、違和感はありませんでした。『Adobe Sketch』は感覚的に描けて、アプリの操作があまり複雑じゃないところがいいなと思います。逆に『CLIP STUDIO PAINT』だと、やれることが多すぎて混乱するので、その点、シンプルなほうが私は使いやすいです。

ネームを作る際は、事前に考えてiPadのメモアプリに打ち込んでいたプロットを見ながら描いている。